

# GLASS BLOCK

## EXISTENCE WORTH OF STRUCTURE

### CONCEPT:

潜在的には認識されるが、視覚では興味にしかとらわれないものがある。視覚には明確に訴えるが、存在を消されてしまうものもある。

電気と水は現代都市に生きる者にとって何よりも大切なエネルギーである。そしてそれを供給するためのSTRUCTURE (ELECTRIC POLE, GUTTER, ...)。

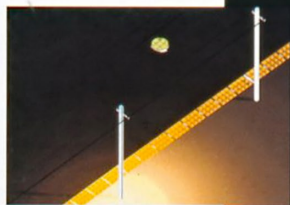
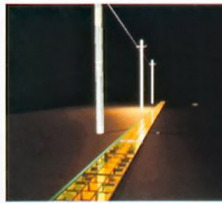
人はエネルギーの供給を受け、生活を営み、必要のなくなったものを排出していく。しかし、人は都市生活を支えるSTRUCTUREが視野に入り込むことを否定してしまう。

存在価値を充分認識されなければならないはずのSTRUCTUREが視野の外へと除外され、覆い隠され、存在を否定されてしまっている。

ガラスそのものは存在が希薄である。透明で内部を通して反対側が見える。存在を否定されたSTRUCTUREと存在が希薄なガラス。2つが組み合わせることで、ガラスはSTRUCTUREを周囲に溶け込ませ、STRUCTUREはガラスに存在感を与える。そこに1つの存在が認められる。

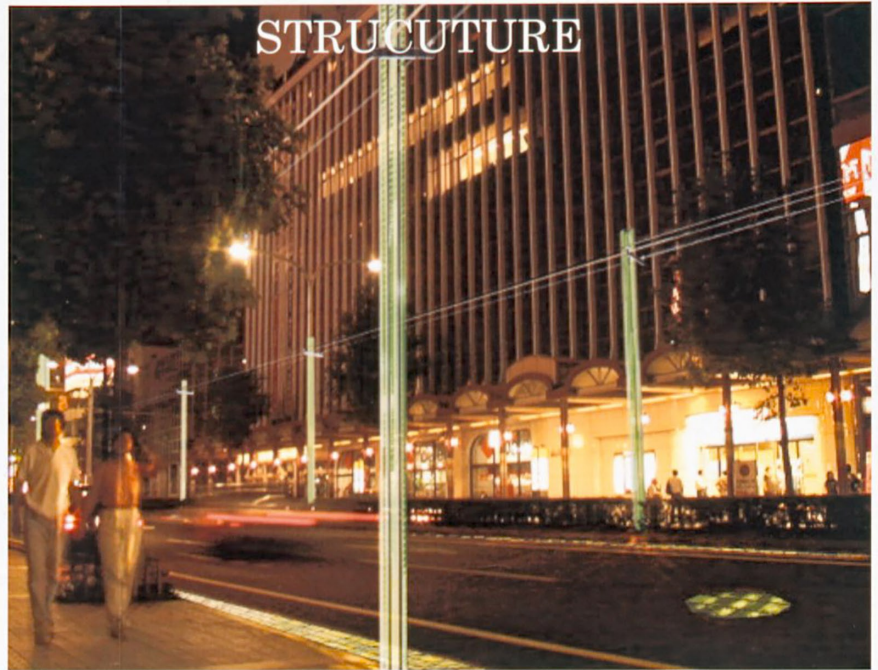


ELECTRIC POLE



STRUCTURE 1 : ELECTRIC POLE

昼はガラスブロックが周囲の環境に溶け込み、ガラスブロックとELECTRIC POLEの存在感は希薄になる。夜はガラスブロック内部のライトにより、ELECTRIC POLEとガラスブロックは存在感を強くアピールし、都市の上方向の拡がり認識させる。



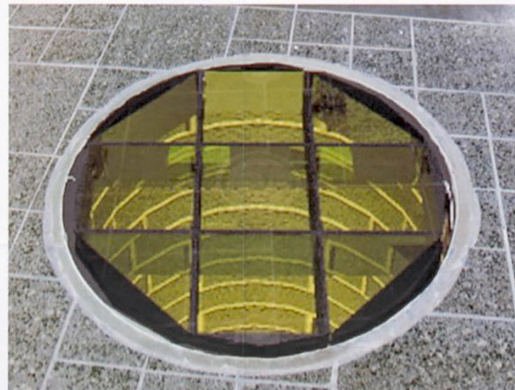
STRUCTURE



MANHOLE COVER



GUTTER COVER



STRUCTURE 2 : MANHOLE COVER

地下には重要なインフラが多く埋設されている。地下のインフラへの入り口、MANHOLE。ガラスブロックのCOVERにより光が内部に入り込み、地下インフラの拡がりを見せ、都市の下方向の拡がり認識させる。



STRUCTURE 3 : GUTTER COVER

道路と歩道の境界に存在する。なにげに見過ごされているが、ガラスブロックCOVERにより働き、機能を人に意識させ、都市の平面的な拡がり認識させる。